

農場 HACCP 技術セミナーを開催

2018年2月7日（水）、生乳生産基盤強化対策として食の安全・安心のため高度な農場管理技術である「農場 HACCP 技術セミナー」を家畜改良センター新冠牧場で開催しました。

農場 HACCP は、安全な生乳・肥育牛・廃用畜・肥育素牛などの畜産物を生産するために、飼養管理上重視しなければならない数多くの点を、農場毎に作業の一つ一つについて予防手段を記録・確認できるように作業工程を構築し、安全・安心な畜産物の生産を図ることを目的としたシステムです。

最近では、平成 32 年に開催が予定されている東京オリンピック・パラリンピック競技大会の畜産物調達基準について関心が高まっているところです。

当日のセミナーでは外部から講師をお招きし、農場 HACCP を活用した農場管理について講演頂きました。農場 HACCP を導入することでより安全性の高い畜産物生産への取り組みや作業の効率化が図れると共に、相互コミュニケーションを活性化するシステムであることなどのお話を伺いました。

消費者の安全・安心な食料を求める声が高まっている中で、安全・安心な食糧供給において、危害要因分析やチェックも重要ですが、作業に従事する人達が相互コミュニケーションを図り、作業体系について継続的に改善に取り組むことにより、家畜の健康が維持されるシステム構築が最も重要であることを学ぶことができました。

（写真）農場 HACCP 技術セミナーの様子

